

まちの日記帳



新記録をめざして！

第41回小学校陸上競技大会

9/2

第41回小学校陸上競技大会が美国小学校グラウンドで開催され、町内の小学校4校の児童が新記録をめざして競技に臨みました。

本大会はあいにくの天候により、一部競技は実施出来ませんでした。児童は短距離走、持久走、走り幅跳び、ソフトボール投げ等の各種目に熱心に取り組み、昨年から新たに始まった1・2年生ソフトボール投げでは美国小1年の丹場祥平君(22m42cm)と美国小2年の原汰騎君(23m14cm)が記録を更新しました。

競技で競い合った児童達は、各小学校間での交流を深め、次回の大会での再会を約束するとともに、自らの記録更新に意欲を示していました。



園児たちのがんばりに歓声

第44回びくに保育所運動会

9/5

びくに保育所運動会が、美国小学校グラウンドで開催され、園児は走って踊ってと大活躍しました。

お父さんやお母さんに見守られながらかけっこや玉入れ、お遊戯などに全力で取り組んだ園児たちに会場からは温かい拍手と歓声が飛び交い、園児は声援に応じて全力を出し切っていました。

また、つなひきなど保護者が参加する種目では、親子が一体となって競技に取り組み、和やかな雰囲気での運動会は進行了ました。

最後は精一杯頑張ったご褒美に園長先生からメダルが贈られ、園児たちは誇らしそうな様子でした。



放射線の知識を深める

第3回少年教室・第3回リフレッシュ学級

9/5

B&G海洋センターで、札幌医科大学附属病院放射線部副部長の武田浩光氏を講師に迎え、第3回少年教室兼第3回リフレッシュ学級「なるほど・ほうしゃせん」が実施され、小学生やリフレッシュ学級員など28名が参加しました。

この日は、講師から福島原発事故の教訓を生かした原子力災害時の避難方法や放射線に関する豆知識などが紹介されたほか、参加者自ら放射線測定器による線量測定や霧箱を用いた放射線の飛跡の観察などを行い、普段は目にする機会の少ない放射線を、体験を通して学ぶ貴重な機会となりました。



プロの技術に歓声

ヤマシメ番屋でバイオリンショー

9
/
9

練伝習館ヤマシメ番屋で一般社団法人積丹やん集小道協議会（別所範一代表）主催のヴァイオリンショーが開催され、町内外から多数の観客が詰めかけました。

奏者には北海道文化財団所属アーティストとして国内外で活躍する能登谷安紀子氏、共演者としてチェロ奏者の中島杏子氏を迎え、著名なクラシック楽曲の他、オリジナル楽曲も披露。この日、プロの演奏を楽しみに訪れた観客は2人の素晴らしい技術に歓声と拍手を送るとともに、番屋の趣のある味わいを楽しんでいました。



校外学習で新しい発見が

美国小児童が社会科見学

9
/
9

美国小児童15名が社会科見学で郷土資料等が収蔵されている旧幌武意小学校とサクラマスサンクチュアリセンターを訪問し、積丹町の「昔の暮らし」と「地域環境」について理解を深めました。

午前中に訪問した旧幌武意小学校では町担当職員の説明を受けながら郷土資料や積丹町での昔の生活などを学び、児童からは当時の仕事の様子や昔の道具の値段、今でも使われている道具の有無など、たくさんの質問が寄せられ、児童は高い関心をもって郷土の歴史の学習に取り組んでいました。

午後からはサクラマスサンクチュアリセンターを訪問し、サクラマスの生態や余別川流域の河川環境等を学びました。同施設では常駐の保護水面監視員がジオラマを使用して余別川の説明が行ったほか、ヤマベやアメマス、それらのエサとなる水生昆虫の観察、同施設の裏手にある「げんきの森」の散策などを行いました。

参加した児童は各施設で学んだ内容を熱心にメモしながら、学校外での学習を楽しんでいる様子でした。このような地域の歴史や環境についての学習機会が、地域へのより深い関心や理解、そして愛郷心の醸成に繋がることを期待しています。

